



# ミスミグループ通信 vol.57

2021年4月1日～2022年3月31日



© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4682

## MISUMI Art Collection

ホアン・ミロ『LA CASCADE AUX OISEAUX』(1971)

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

証券コード：9962

## 地域別モデル革新を加速し、 「攻め」の経営で次の高成長を目指す



2021年度における世界経済は、コロナ禍からの回復が進む中、グローバルで自動化需要が総じて高水準で推移しました。一方、サプライチェーンにおいては不透明な状況が続いており、各種材料や部品の品薄状況が改善されず、一部供給が困難であったこと、生産設備の立ち上

げや稼働率が頭打ちになったこと、期末にかけてウクライナ情勢や中国のコロナ影響を受けたことなどにより、さらに混乱する状況となりました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支

える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、全地域で回復した自動化需要を的確に捉えることに尽力しながら、昨年度から取り組んでいる収益改善策を徹底継続し、一部供給制約がありましたが、グローバル確実短納期の強みを発揮してきました。この結果、2021年度の連結売上高は過去最高の3,661億6千万円(前年同期比17.8%増)となりました。

セグメント別では、FA事業は旺盛な自動化需要により全ての地域で大きく伸長し、売上高は1,192億5千3百万円(前年同期比16.6%増)、金型部品事業は米州・

アジアがけん引し、グローバルで自動車関連需要が回復したことにより、同751億8百万円(前年同期比12.3%増)、VONA事業は、低収益商品の販売中止や一部商品不足の影響を受けたものの、グローバルで自動化関連需要を獲得したことにより大きく成長し、同1,717億9千9百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の拡大、収益改善効果および為替効果により、営業利益は522億1千万円(前年同期比92.0%増)、経常利益は525億円(前年同期比93.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は375億5千7百万円(前年同期比119.1%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。

## 成長性・収益性の高い地域・事業・サービスへの集中を加速

世界経済および日本経済は、アフターコロナの市場構造転換およびグローバルサプライチェーンの地域ブロック化がさらに進展する中、今後も不透明な経営環境が続くものと想定しています。一方、産業界では、コロナ後を見据えて自動化の需要はグローバルで一層の高まりが期待されます。

当社では、こうした顧客のニーズに対応すべく、今後も

IT、物流、製造の事業基盤を進化させ、グローバル確実短納期にさらに磨きをかけてまいります。また、より成長性・収益性の高い地域・事業・サービスへの集中を加速するとともに、競争環境の変化や地政学リスクなどを見据えてモデルの革新に取り組みます。

2022年度の主な取り組みについてご紹介します。

コロナ後、グローバルサプライチェーンの地域ブロック

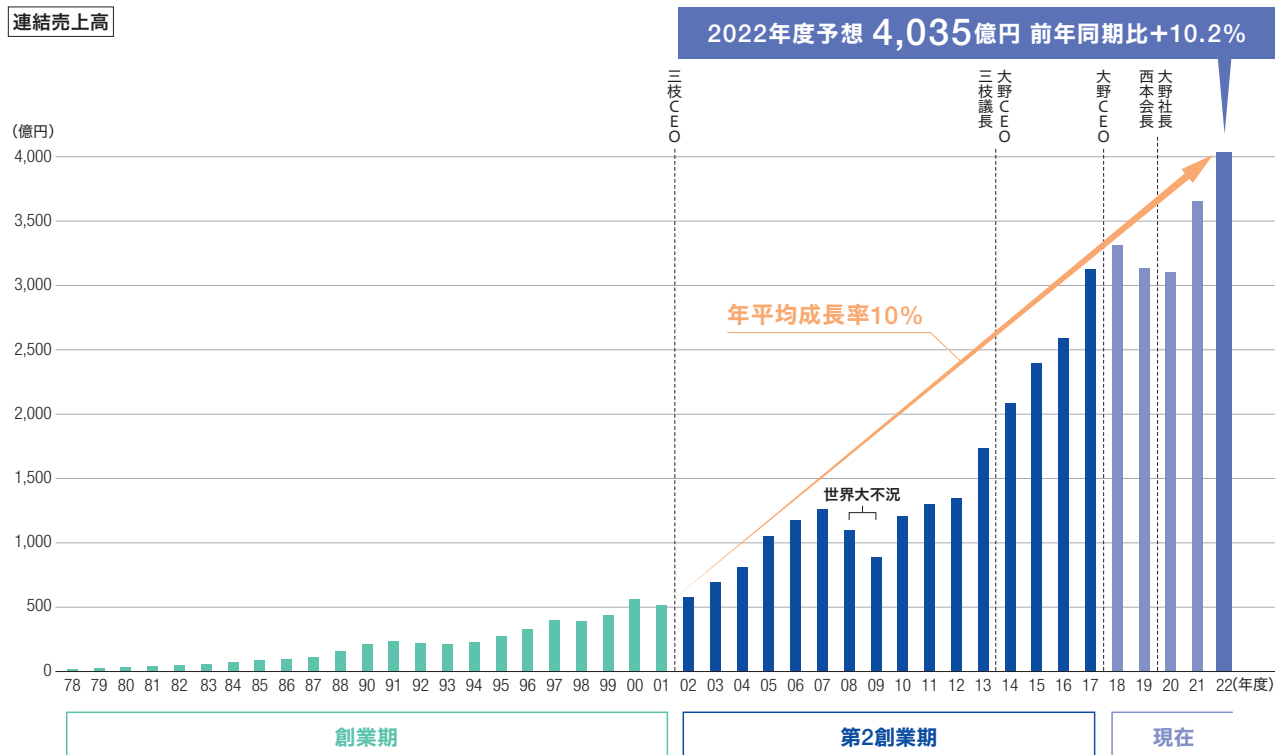
トップメッセージ

化がさらに進展している中で、当社は当面の重点戦略地域を中国とアジアにおいております。中国における競争優位性を強化するために、顧客集積度の高い華東・華南地区で新しい物流・生産拠点を立ち上げ、それぞれの対応能力を増強します。また中国全土において、攻めの価格戦略をもって幅広いローカル需要の獲得にも注力します。

メーカー事業では、商品の設計データ(3D-CADデータ)をアップロードするだけで、即時見積もり、最短1日出荷を実現するサービス「meviy」の展開を加速します。今まで展開していた国内では売上・利用者数ともに伸長が継続しており、2021年度末から欧州に本格展開をスタートし、2022年度には米国、韓国、中国への展開を完遂す

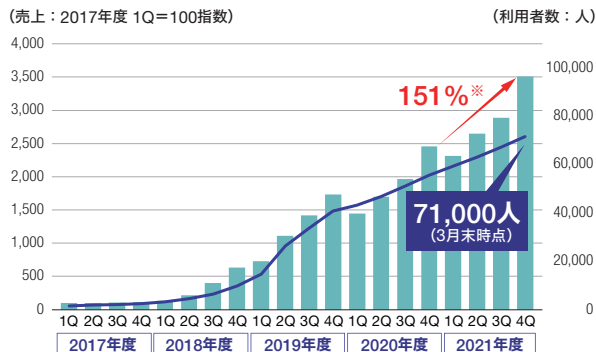
ミスミグループの業績推移

連結売上高



(注) 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

## meviy国内売上高・累計利用者数推移



※2020年度に終了した金型部品を除く

る予定です。

流通事業であるVONA事業では、品揃え改革に取り組みます。中国発・価格競争力の高い「エコノミーシリーズ」を投入し、品揃えの強化により中国域内や日本、アジアでの浸透加速を図ります。

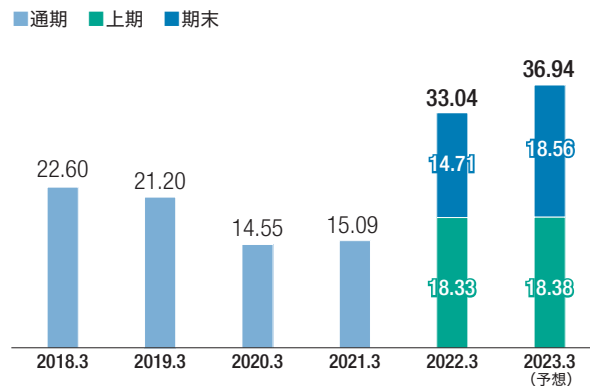
こうした施策に取り組むことで、2022年度の売上高は4,035億円、営業利益573億円、親会社株主に帰属する当期純利益は420億円を見込んでいます。

## 2022年度も過去最高の配当を見込む

当社グループは、持続的な成長による配当可能利益の増加によって株主の皆様への還元を増大することを基本としており、配当に関しては、現在配当性向25%を基準に決定しています。これにより、2021年度の1株当たり期末配当金は14円71銭とさせていただきます。年間配当金は1株当たり33円04銭となり、前年比17円95銭増となります。

2022年度の配当については、現時点では通期で1株当たり36円94銭を見込んでいます。前期に比べ3円90銭(+11.8%)の増配となり、過去最高を更新する見通しです。

## 1株当たり配当金 (円)



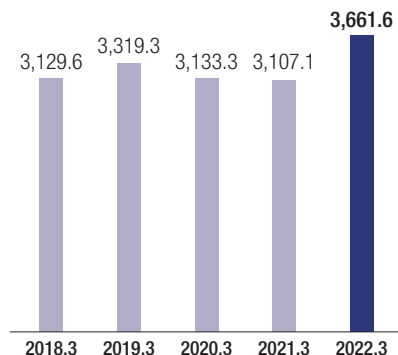
# Financial Highlights

## 連結財務ハイライト

売上高 (億円)

**3,661.6** 億円

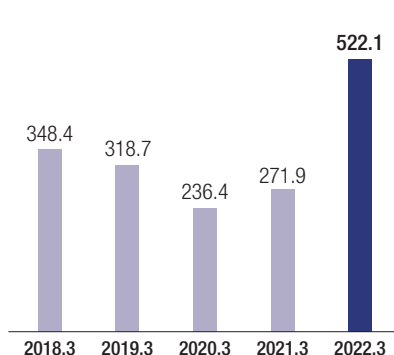
前期比 17.8% 増



営業利益 (億円)

**522.1** 億円

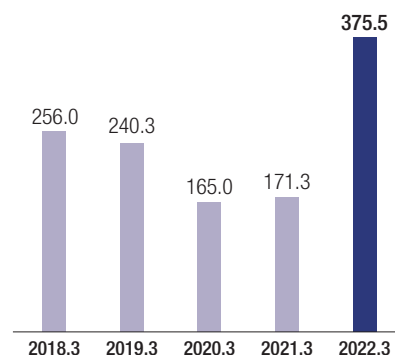
前期比 92.0% 増



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

**375.5** 億円

前期比 119.1% 増



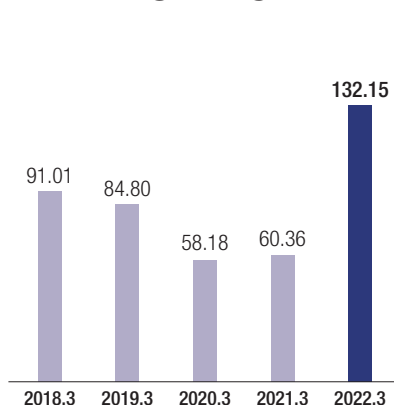
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)

**14.8**%



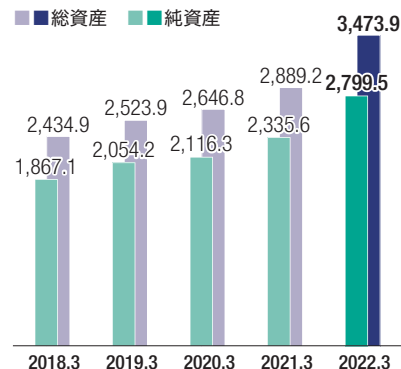
1株当たり当期純利益 (円)

**132.15** 円



総資産・純資産 (億円)

総資産 **3,473.9** 億円  
純資産 **2,799.5** 億円



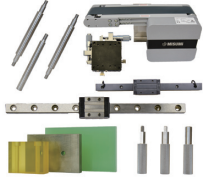
詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

ミスミ IR 検索



## セグメント概況

### FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

### 金型部品事業

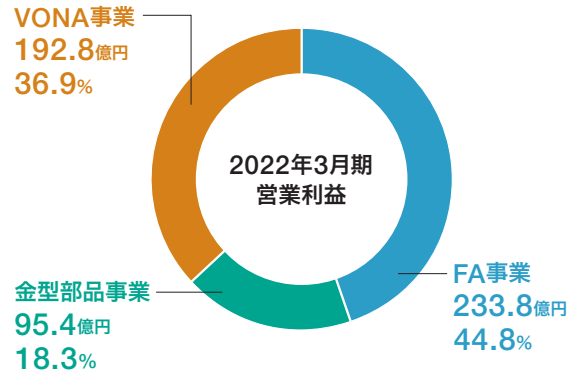
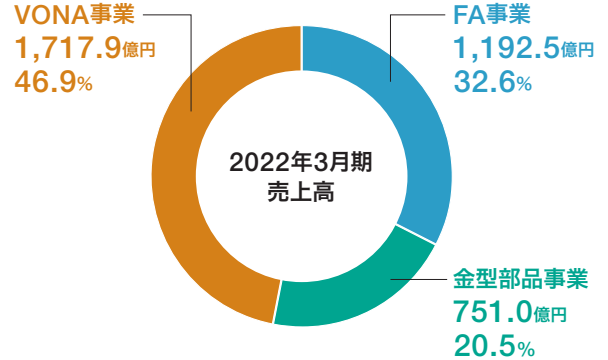


プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

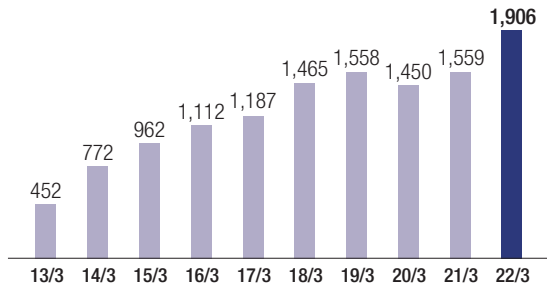
### VONA事業



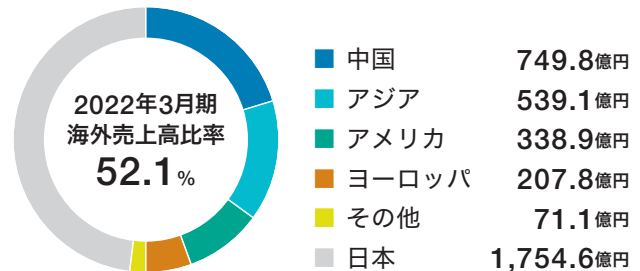
他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



### 海外売上高 (億円)



### 地域ごとの状況



## サステナビリティへの取り組み

当社事業の対象であるインダストリアル・オートメーション産業は、様々な経済活動の自動化・省力化などを実現し、社会の持続的発展に不可欠なものとして寄与しています。

当社は、インダストリアル・オートメーション産業のトータルサプライチェーン、トータルビジネスプロセスにおける非効率を「時間」を切り口に解消することで同業界の発展に貢献しています。インダストリアル・オートメーション産業の発展による社会の持続的発展が、次なる同産業界の需要を創出し、それは当社にとって新たな機会の創出にもつながります。

ミスグループはこの循環の確立に貢献することで社会、産業界の持続的発展を支え、当社自身の持続的成長に繋げていきたいと考えています。



### 当社の提供する顧客時間価値① プロセス改革

自動化設備・装置の部品は一品一様であり、図面制作から見積もり、部品の加工、調達まで、煩雑な手間と長い納期を必要とする等、そのプロセスには極めて非効率な業務が散在します。当社は、自動化設備・装置に使う受注製作部品を規格化することで図面作成を不要にする等、お客さまの非効率業務にかかる時間を大幅に削減しています。

### 当社の提供する顧客時間価値② 確実短納期

当社はグローバルで30万社を超えるお客さまにサービスを提供するサプライチェーンを構築し、部品一個からでも確実に納期を遵守する「確実短納期」を実現しています。これによりお客さまの不要な在庫を削減し、生産・稼働機会ロスなどを解消しています。

## サステナビリティにおける当社の重要課題

当社は顧客時間価値を継続的に向上させ、事業活動を持続的成長させるための3つの重要課題を特定いたしました。

### 顧客要望に適應した ビジネスモデル進化

- 確実短納期・品揃え・サービス等
- 事業戦略策定、実行、監督

### 確実短納期を支える 事業基盤強化

- グローバル生産5極体制
- 物流拠点網の拡充
- 情報基盤システムの進化
- リスクマネジメント

### 時間価値提供と社会責任を果たす 人材基盤構築

- 戦略志向、改善志向  
グローバル人材育成
- 商品安全性、情報管理、人権保護等、  
社会への責任を果たす為の人材・組織

事業、商品、サービスなどのビジネスモデルを常に進化・発展させるとともに、それらを支えるIT、物流、製造の事業基盤強化、人材基盤構築に取り組んでいます。



## 気候変動への取り組み

当社は事業活動を通して、地球温暖化防止などの気候変動対策に取り組んでいます。

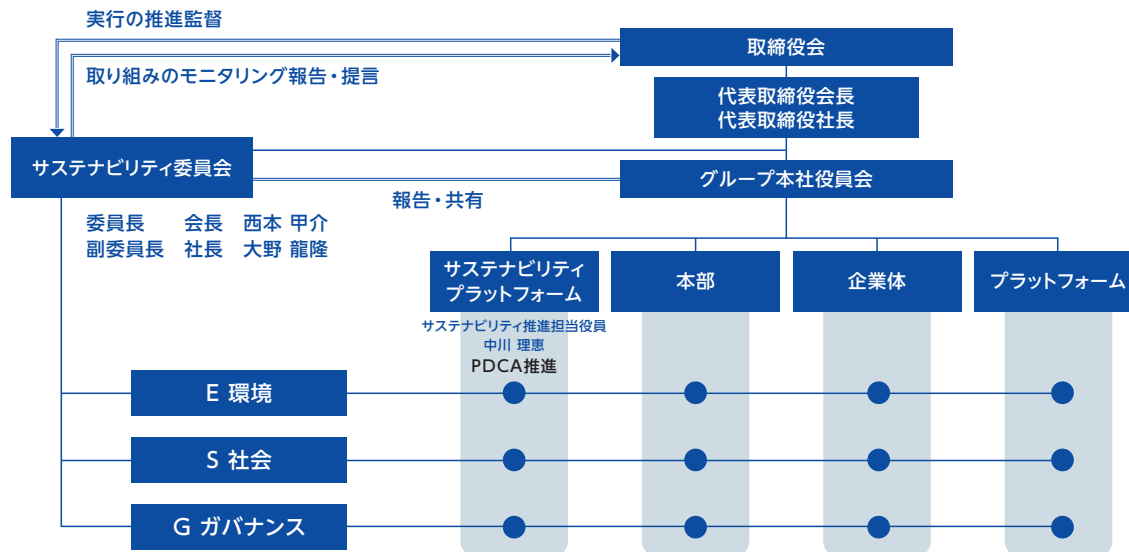
2021年9月にTCFD提言への賛同、「TCFDコンソーシアム」への参画を表明し、2022年3月には気候変動の影響が大きいメーカー事業を中心に、1.5°C/2°Cシナリオ、および4°Cシナリオに基づく分析を実施し、各々のシナリオへの移行リスク・物理リスク・機会の特定、事業インパクトの評価について情報開示をしました。

また2050年のカーボンゼロを実現するために、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ1およびスコープ2）を、2020年度対比で42%削減する目標を設定いたしました。この目標を達成するために、当社グループでは、これまで進めてきた省エネルギー活動を一層推進します。

## サステナビリティ推進のガバナンス体制

当社はサステナビリティへの一層の取り組みを強化するため、代表取締役会長を委員長、代表取締役社長を副委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置、本委員会ではサステナビリティ基本方針を策定し、経営計画や経営方針に対する検証と、社会課題に対する取り組みを推進し、取締役会に報告・提言を行っています。

またサステナビリティ推進担当役員を定め、グループの執行組織である本部・企業体・プラットフォームと連携して、ESGに関する目標設定・進捗状況をモニタリング、評価等を行い、サステナビリティへの取り組みを継続展開しています。



## 会社情報

## 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名:MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号飯田橋ファーストビル
資本金	136億6千4百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびにそれらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,842名 (ミスミグループ連結)
URL	<a href="https://www.misumi.co.jp/">https://www.misumi.co.jp/</a>



## ミスミグループトップマネジメント (2022年6月16日現在)

## 取締役

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役	金谷 知樹	常務取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳
取締役 (社外)	中野 庸一	取締役 (社外)	清水 新	取締役 (社外)	梶関 智晴

## 名誉会長

三枝 匡

## 経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役 兼 中亞事業統括 兼 中国企業体 企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 兼 日本企業体 企業体社長	清水 重貴	取締役 兼 中国企業体 企業体副社長 兼 ミスミ (中国) 精密機械貿易 有限公司董事長兼総経理	徐 少淳
常務執行役員 兼 欧米事業統括	男澤 一郎	CIO・常務執行役員 兼 デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 代表執行役員	佐藤 年成	常務執行役員 兼 ID※1企業体 企業体社長	吉田 光伸
常務執行役員 兼 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	常務執行役員 兼 日本企業体 企業体副社長 兼 VONA MRO事業統括	荒川 亨	CFO・常務執行役員 兼 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹

## 経営執行役

アジア企業体 企業体社長	小林 延好	欧州企業体 企業体社長	恒松 孝一	米州企業体 企業体社長	大洞 龍児
日本企業体 企業体副社長 兼 IE※2事業統括	荘司 秀佳	OST企業体 企業体社長	渡邊 宣公	SCMオペレーションプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工	サステナビリティ推進担当役員 兼 SXプラットフォーム 代表執行役員	中川 理恵	デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 上席執行役員	萩平 和巳
Gateway推進本部 本部長	鷲見 昌丈	日本企業体 執行役員常務 兼 IM※3事業統括	川上 浩一		

## 監査役

監査役	和田 高明	監査役 (社外)	野末 寿一
監査役 (社外)	青野 奈々子		

## 創業者

名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
特別顧問・創業者	田口 弘

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月	上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合は、日 本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告掲載URL	<a href="https://www.misumi.co.jp/ir/">https://www.misumi.co.jp/ir/</a>
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)		

## 注意事項

## 業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

## 住所変更、買収請求その他各種手続きについて

原則、株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 『LA CASCADE AUX OISEAUX』

ホアン・ミロ (1971年)

ホアン・ミロは20世紀を代表するシュルレアリスムの一人です。

鳥 (Oiseaux) はミロ作品のモチーフとして多く登場し「オートマティスム」(自動記述)と呼ばれる、即興的な方法によってそのイメージが組み合わされています。

子供が描いたような雰囲気のある夢と現実が地続きにある、夢幻的な空間を浮遊する詩情溢れる作品です。

株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル  
TEL: 03-5805-7037 FAX: 03-5805-7014  
URL: <https://www.misumi.co.jp/>

